

# 大変きたない水

## 水質階級Ⅳ

周りには工場なども多く、人がたくさん住んでいるようなところ（かべ）です。川岸が壁のようなコンクリートや鉄でつくられていたりします。川の水は灰色っぽく濁（にご）っていて、ゴミなどがたまりやすくなっています。

チョウバエ（さなぎ）

セスジユスリカ（幼虫）

エラミミズ

サカマキガイ

アメリカザリガニ

# 大変きたない水（水質階級Ⅳ）の指標生物

線の長さは実物の大きさの目安です。

## セスジユスリカ

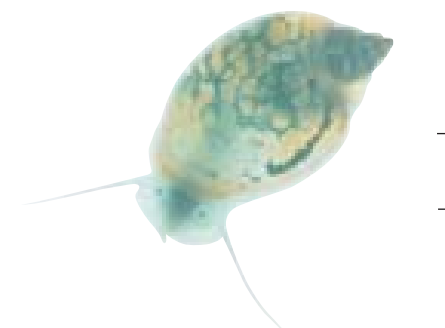
中型のユスリカで大きさは1.5cmぐらい。赤色。腹の下の方の節に2対のエラがある。流れのあるところに泥などチューブ状の巣をつくって生活している。

- まちがえやすい生物

赤色のユスリカは非常に多くの種類があり、上流のきれいな場所で見つかるものもある。



セスジユスリカ



サカマキガイ

## サカマキガイ

殻の上がった方を上にして見て、口が左側についているのが特徴。流れのないところでは水面に逆さ向きになっていることがある。

## チョウバエ

大きさは8mmぐらいで、細長く、足はない。下水、排水溝などにすんでいる。尾に長い突起（呼吸管）がある。



チョウバエ



エラミミズ

## エラミミズ

大きさは最大4cmぐらい。ピンク～赤色の糸状でちぎれやすく、頭ははっきりしない。頭を泥の中に入れ、尾を水中に出してゆすり、水の流れをつかって呼吸している。水中の酸素量が少なくても生活できる。尾に多くの糸状のエラがある。

## アメリカザリガニ

大きさは10cmぐらいで、流れがゆるやかで浅い泥の多い川底にすんでいる。北アメリカから入ってきた外来種。

- まちがえやすい生物

北海道や東北地方などには、きれいな水にすむもともと日本にいた別種類のザリガニがいる。



アメリカザリガニ